

ちほの おしゃべりタイム



ゆめ ころざし
夢 と 志



オフィスPrima 代表
フリーアナウンサー
ビジネスマナー講師

とおる ちほ
透 千保

東海地方の各放送局(岐阜放送/ぎふチャン、FM Gifu、東海ラジオ、メーテレなど)で数多くの番組やニュースを担当。司会、ナレーションの他、名鉄電車、名古屋市営地下鉄など、公共交通機関のアナウンス放送に携わる。一方、企業・大学において、ビジネスマナー、電話対応などの研修講師を務め、人材育成に取り組んでいる。

子供の頃、どんな夢を描き、どんな志を抱いていましたか？夢が自分の中から湧き出でてくる「したいこと」であるとしたら、志とは時代や社会の要請に答えて「なすべきこと」であると思います。

2008年4月、経営コンサルタントの角田識之氏が、岐阜県の小学校で初めて「志授業」を行ったことがきっかけで、趣旨に賛同した企業の経営者や教育関係者が、NPO法人岐阜立志教育支援プロジェクトを立ち上げました。現在では、10都道府県で認定講師による授業が無償で行われています。岐阜で始まった活動が全国に広がっているのです。

「志授業」では、自分が将来なりたい姿や、どのように社会の役に立ちたいかを作文し、これから歩む人生を登山に見立てて描きます。郷土の偉人についても学び、自分の人生は自分で決めるという主体性を大切にしています。

また、年1回、子供たちが自分の夢や志について発表する立志教育支援フォーラムが開かれます。第1回のフォーラムでは、小学6年生の赤尾将希さんが「将来は総理大臣になる」と発表し、その堂々たる話しぶりに会場の誰もが圧倒されました。総理大臣はあくまで手段であり、日本を世界一幸せな国にするという志を掲げていたのです。その後、東京大学に入学した赤尾さんが、第10回のフォーラムにゲストとして登壇された時には、その成長ぶりに胸が熱くなりました。

第一生命保険が発表した第32回「大人になったらなりたいもの」調査では、小学生男子の大人になったらなりたい職業は、1位が「会社員」で、2位の「YouTuber/動画投稿者」、3位「サッカー選手」を押さえてトップになりました。一方、小学生女子では、1位「パティシエ」、2位「教師/教員」、3位「幼稚園の先生/保育士」に続き、4位に「会社員」がランクインしました。

リモートワークの導入により、自宅で仕事をするお父さん・お母さんを間近に見て、「かっこいい！」と思う子供が増えたとの報道も。特別な職業ではなくても、日常の中でも、仕事を通して夢を描くこと、誰かを喜ばせたいという志を持つことはできるでしょう。「会社員」になりたいと答えた子供は、そんな大人の姿から何かを感じ取ったのかもしれません。

今年12回目を迎える「立志教育支援フォーラム2021 in 岐阜」は、7月24日(土)みんなの森ぎふメディアコスモスにおいて無観客で開催され、LIVE配信される予定。私は毎回、登壇する子供たちにインタビューをしています。目をキラキラ輝かせながら発表する姿に元気をもらっています。今年は、どんな夢や志を語ってくれるのか楽しみです。